

木造四天王立像・楽山五万人勧進回向地藏菩薩像 附指定 4 軀

木造四天王立像・楽山五万人勧進回向地藏菩薩像

もくぞうしてんのうりゅうぞう・ぎょうさんごまんにんかんじんえこうじぞうぼさつぞう

分野／部門

有形民俗文化財

所有者

宗教法人 大念佛寺(だいねんぶつじ)

所在地

大阪市平野区平野上町 1 丁目

紹介



木造四天王立像のうち、持国天像

楽山は、文化 7 年(1810 年)に生まれ、弘化 3 年(1846 年)に没した念仏行者で、近畿一円で結縁した信者の数は数万人に及ぶという。弘化 2 年(1845 年)に大念佛寺で勧進を行った際に、自身をモデルとした地藏菩薩立像を造立して奉納した。この像は、大念佛寺境内の地藏堂に、由緒を記した額とともにまつられており、平成 20 年(2008 年)に市指定の有形民俗文化財となっている。四天王立像は、現在は大念仏寺境内の収蔵庫に安置されている。かつては地藏像とともに、地藏堂にまつられていた像である。地藏像と彫り口が通じるため、一具の制作とみられ、地藏像と由緒を同じくする史料である。